

第31期第21回常任理事会議事録

日時：2002年5月22日（水）17時30分～18時10分

会場：大宮ソニックシティ（7階会議室703号）

出席者：廣田，二宮，勝山，木田，澤井，住，田中(博)，
新野，藤部，萬納寺，山岸，山内，以上12名

その他の出席者：館，島村（以上事務局）

議事

1. 第31期第20回常任理事会議事録の確認

2. 各委員会報告

庶務…後援名義等使用依頼受付

名義：第4回水文・水資源セミナー

1) 主催：水文・水資源学会 企画事業委員会

2) 期日：2002年5月31日（金）

3) 場所：中央大学駿河台記念館

4) 名義：後援

名義：第3回大気放射セミナー

「地球・大気系の放射過程とリモートセンシングに関するセミナー」

1) 主催：企画実行委員会

2) 期日：2002年7月1日（月）～3日（水）

3) 場所：フェニックスシーガイアリゾート
（宮崎県宮崎市山崎町浜山）

4) 名義：後援

名義：シンポジウム「風力発電タービンの最適適地探査法—急峻な地形に対応する風況予測システムの開発」

1) 共催：日本気象協会，東京大学生産技術研究所

2) 期日：2002年7月31日（金）

3) 場所：東京大学生産技術研究所
第一会議室

4) 名義：協賛・後援

・第23回国際測地学・地球物理学連合総会

募金活動ご協力をお願い

IUGG 組織委員会と募金委員会から，募金活動への協力と，募金担当者の選定の依頼があった。

・平成14年度科学研究費補助金「研究成果公開促進費」の交付の内定通知

内定額（交付予定額）：金4,900,000円

・平成14年度科学研究費補助金「研究成果公開促進費」の交付請求書提出5月1日

・平成15年度科研費補助金細目「環境動態解析」
審査委員候補者推薦について

気象学会より2名推薦

・総会参加票の集計

5月20日現在，総数2326票，うち有効数2316票，無効10票。

会計…2002年4月分の収支報告

・事務局に新たにパソコンを追加購入した。

天気…Vol. 49 No. 5 (2002年5月号)の掲載記事と
Vol. 49 No. 6 (2002年6月号)掲載予定記事の報告。

気象集誌…Vol. 80 No. 4の内容を報告

・9月発行予定のVol. 80 No. 4b成層圏-対流圏結合特集号の内容を報告

気象研究ノート…第192号「GPS 気象学」を韓国語に翻訳して出版したいと韓国の出版社から提案があり，これを了承した。

教育と普及…夏季大学のテキストのCD収録は著作権の関係もあって難しい。1年くらい後にWebページで見られるようにすることを検討する。出席申し込みをメールで受け付けられないか検討中。

電子情報…2002年4月1～31日の気象学会ホームページのアクセス状況（56,047件）

・メイリングリスト配信記録（1件）

用語…31期委員会では英語用語のリストアップ，日本語訳（案），用語のランク付けを行なった。32期ではWebページで会員に公開して意見を求めたい。

3. 会員の新規加入などについて

新入会員40名を承認，退会0名。5月17日現在，会員数4,523名（内，通常会員3,977名）。

最近7年の会員数の動向，2001年度の会員番号別の退会者数などを事務局がまとめた。会員数の合計は1999年の4585人をピークとして減少しつつあり，2002年までに約100人減少した。この減少には一般B，学生B会員の減少が大きく寄与している。また，気象学を専攻する学生の数は増えているものと思われるが，学生会員の数は大きな増減はない。2001年度の会員番号別の退会の比率によると，2000番までの若い番号の会員の退会率が10%以上で多いほか，90年代後半に入会した8000-9000番の会員の退会率

も10%を越えている。

4. 2002年度総会資料について
総会資料の内容を確認した。

5. その他

天気編集担当書記の待遇について今後検討することとした。

第31期第7回理事会議事録

日 時：2002年5月22日（水）18時15分～19時30分

会 場：大宮ソニックシティ（7階会議室703号）

出席者：廣田，二宮，勝山，神沢，木田，近藤，澤井，
住，竹村，田中（博），田中（浩），中澤，新
野，平木，藤部，藤吉，萬納寺，山岸，山内，
以上19名。

その他の出席者：和田，塩原，佐藤（国立極地研，以
上大会実行委員），館，島村（以上事務局）

議 事

1. 2004年度日本気象学会春季大会の担当機関について

気象庁を担当機関とする2004年度春季大会について準備委員会で打ち合わせを行なったこと，来年実行委員会を立ち上げることが報告された。気象台，気象庁担当の姿を考え直す必要があるとの意見があった。

2003年度春季大会は筑波大学が担当し，5月21～24日エポカル筑波で開催することが報告された。土曜を含む4日間開催を試みる。

2. 総会参加票の集計について

参加票の有効投票数，記された意見などが報告された。

3. 学会事務局と電子情報および数値予報グリッドデータ

会員，会員外からの問い合わせ，連絡用のメール

アドレスを理事連絡用とは別に設け，事務局で使えるようにする方向で検討することとした。

気象庁の数値予報格子点値をインターネットを通じて入手できるようなシステムが6月から正式運用予定で現在試験運用中であり，5月15日現在26件の利用申し込みがあったことが報告された。

4. 日・中・韓の学術交流について

学術交流にさまざまな形態が考えられるが，実現するように議論を続けることを確認した。

5. 理事会の日程について

第31期第22回常任理事会，第31・32期合同理事会および第32期第1回理事会を6月18日に開催する。

6. 2002年度総会資料について

総会資料の内容を確認した。

7. 第23回国際測地学・地球物理学連合総会からの募
金活動協力をお願い

木田理事を気象学会の募金担当者としてすることとした。

平成14年6月18日

社団法人日本気象学会

議 長 萬納寺信崇

署名人 勝山 税

署名人 澤井哲滋